

平成 30 年 12 月 21 日発行

<鈴木信太郎記念館とは？>

■概要

豊島区ではフランス文学者の鈴木信太郎氏の居宅を平成 22 年にご遺族から寄贈いただきました。昭和 3 年に建築された鉄筋コンクリート造の書斎棟、戦後の昭和 21 年に建築された茶の間・ホール棟、明治 20 年代に現在の春日部市に建築された鈴木本家の母屋を昭和 23 年に移築した座敷棟という建築年代の異なる貴重な建造物が同一敷地内に所在することから、旧鈴木家住宅として、区の有形文化財（建造物）に指定しました。区ではこの貴重な建物を保存していくとともに、鈴木信太郎記念館として、改修・整備しました。当地が日本のフランス文学研究発祥の地であることを広く発信していきます。皆さまのご来館をお待ちしております。

○所在地…東京都豊島区東池袋 5-52-3

○交通案内…東京メトロ丸ノ内線「新大塚駅」徒歩約 3 分

JR 山手線「大塚駅」南口より徒歩約 8 分

都電荒川線「大塚駅前」及び「向原」停留場より徒歩約 8 分

○開館時間…午前 9 時から午後 4 時 30 分

○休館日…月曜日（祝日が重なる場合は翌日も）、

第 3 日曜日、祝日、年末年始、展示替えによる臨時休館

○駐車場・駐輪場はありませんので、

公共交通機関をご利用ください。

■鈴木信太郎(1895-1970)

20 世紀前半の日本のフランス文学研究黎明期に、ステファヌ・マラルメなどの象徴派の詩人や、ヴィヨンを中心とする中世文学を研究したフランス文学者。また、フランス文学関係の稀覯本蒐集家としても知られている。

■展示みどころ

○フランス文学関連展示

書斎では、主にフランス文学に関する信太郎の著作と収蔵資料を「フランス文学の受容と展開」、「象徴主義フランス詩の世界」等の 5 つのコーナーに分けて紹介します。

そのうち、「信太郎の愛蔵書」コーナーでは

定期的に展示替えを行います、  
本年度は E.A.ポーター作、マラルメ訳で、  
マネが挿絵を担当した限定豪華本、  
『大鴉』（複製/原本は獨協大学図書館蔵）を  
展示しています。

#### ○建築関連展示

当館は数度の増改築を経て、鉄筋コンクリート造の書齋棟、  
茶の間・ホール棟、座敷棟の三棟構成となりました。  
各棟それぞれ建築年代が異なり、貴重な建造物が  
同一敷地内に所在することから、区の有形文化財（建造物）  
「旧鈴木家住宅」として保存されています。  
書齋棟北側廊下では、こうした増改築の変遷を物語る  
図面資料を中心に展示し、「旧鈴木家住宅」を紹介します。

#### <お知らせ>

##### ■ギャラリートーク

平成 31 年 1 月 19 日、2 月 16 日、3 月 9 日  
いずれも土曜日午後 2 時より、学芸員による  
ギャラリートークを行っています。

（他の事業との兼ね合いで、変更になる場合があります。）  
事前申込みは不要ですので、お気軽にご参加ください。

##### ■年末年始のお休み

平成 30 年 12 月 28 日（金）から平成 31 年 1 月 4 日（金）まで、  
年末年始のため休館となります。

---

##### ■このメールは豊島区メールマガジン

「鈴木信太郎記念館ニュース」  
に登録いただいている方に配信しています。

■このメールは送信専用のため、  
直接ご返信いただいてもお問い合わせには  
お答えできません。

■メールマガジンの配信を停止する方は、  
下記より停止してください。

<http://www.city.toshima.lg.jp/kuse/koho/007058/033605.html>

##### ■豊島区立鈴木信太郎記念館

〒170-0013 豊島区東池袋 5-52-3

TEL : 03-5950-1737

<http://www.city.toshima.lg.jp/129/bunka/bunka/shiryokan/suzuki/suzuki.html>

---